

JAPAN PATENT OFFICE

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: August 23, 2000

Application Number: Patent Application No. 2000-252004

Applicant(s): Kaoru KOBAYASHI



May 31, 2001

Commissioner,

Japan Patent Office

Kozo OIKAWA

Certificated No. 2001 - 3051064

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年 8月23日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-252004

出 願 人  
Applicant(s):

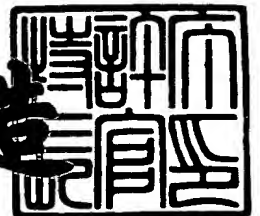
小林 薫



2001年 5月31日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3051064

【書類名】 特許願

【整理番号】 PSB49191JP

【提出日】 平成12年 8月23日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明者】

    【住所又は居所】 群馬県高崎市浜尻町 9 8 - 2 1

    【氏名】 小林 薫

【特許出願人】

    【住所又は居所】 群馬県高崎市浜尻町 9 8 - 2 1

    【氏名又は名称】 小林 薫

【代理人】

    【識別番号】 100077805

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 佐藤 辰彦

【選任した代理人】

    【識別番号】 100077665

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 千葉 剛宏

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 015174

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】

広告システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク通信を利用して画面表示機能を有する情報処理端末において広告を掲載する広告システムであって、

広告に係る地域を段階的に細分化し、該広告を該細分化のレベル及び該レベルにおける地域区分ごとに分類するとともに、該広告の内容に応じて分類して記憶する記憶手段と、

前記情報処理端末から該細分化のレベルと、該レベルにおける地域区分と、該広告の内容とに係る閲覧データを受信するデータ受信手段と、

該記憶手段により記憶されている情報の中から、該データ受信手段により受信された該閲覧データに係る該細分化のレベルと、該地域区分と、該内容とに応じて分類されている広告を検索する検索手段と、

該検索手段により検索された広告に係る広告データを該情報処理端末に送信するデータ送信手段とを備えていることを特徴とする広告システム。

【請求項 2】

前記データ受信手段は広告申込用の情報処理端末から前記広告に関する地域の前記細分化のレベルと、該レベルにおける地域区分と、該広告の内容に係る分類データを受信し、

前記記憶手段は、該データ受信手段により受信された該分類データに基づき該広告を分類して記憶することを特徴とする請求項 1 記載の広告システム。

【請求項 3】

前記記憶手段は、所定の地域範囲において共通する内容の広告の数が大きい広告ほど前記細分化のレベルを高くして記憶することを特徴とする請求項 1 記載の広告システム。

【請求項 4】

前記所定の地域範囲において共通する内容の広告の数を該広告の内容ごとにカ

ウントするカウンタを備え、

前記記憶手段は、該カウンタによりカウントされた共通する内容の広告の数が大きい広告ほど前記細分化のレベルを高くして記憶することを特徴とする請求項 3 記載の広告システム。

【請求項 5】

前記情報処理端末は携帯型であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 つに記載の広告システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワーク通信を利用して画面表示機能を有する情報処理端末において広告を掲載する広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年急激に普及した携帯電話や P H S 等のモバイルはインターネット等のネットワークを通じた情報伝達媒体として大きな役割を果たしている。かかる状況を反映し、モバイルを通じてネットワーク上の所定のサイトで求人広告が閲覧可能とされている。こうしてモバイルは企業等の人材確保の有効なツールとして、また、働き手の職場確保の有効なツールとして期待されている。ユーザはモバイルを通じて求人広告用のホームページにアクセスし、地域及び職種を指定することで、当該地域における当該職種に関する求人広告を閲覧することができる。

【0003】

しかし、例えば、居酒屋のような職種に関する求人広告はその数が多いので、地域が絞り込まれていない場合には求人広告の数が膨大になる。従って、ユーザは希望にかなった求人広告を見つけ出すのに時間がかかる。また、全ての求人広告を閲覧しようとするモバイルにおける表示画面が小さいために求人広告を 1 つずつ閲覧するための操作の回数が増え、さらには通信コストが高くなる。

【0004】

一方、漆塗り職人のような職種に関する求人広告はその数が少ないので、地域

が絞り込まれすぎた場合には求人広告の数がわずかとなる。このため、ユーザは希望にかなった求人広告を閲覧することができない可能性が高くなる。

【 0 0 0 5 】

このように求人広告の数がときとして膨大、ときとして過小になるため、ユーザによる求人広告の閲覧が思うように促進されず、ひいては求人募集者が人材を確保できないおそれがあった。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、本発明は内容ごとに地域限定の度合いと広告の数とを整合可能な広告システムを提供することを解決課題とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本願発明者は、ユーザはありふれた内容に関する広告については地域を狭く絞り込んだ上で閲覧する傾向にあり、特殊な内容に関する広告についてはあまり地域を絞り込まずに広範囲にわたって閲覧する傾向にあることを知見した。本発明はかかる知見に基づいてなされたものである。

【 0 0 0 8 】

前記課題を解決するための本発明の広告システムは、広告に係る地域を段階的に細分化し、該広告を該細分化のレベル及び該レベルにおける地域区分ごとに分類するとともに、該広告の内容に応じて分類して記憶する記憶手段と、前記情報処理端末から該細分化のレベルと、該レベルにおける地域区分と、該広告の内容とに係る閲覧データを受信するデータ受信手段と、該記憶手段により記憶されている情報の中から、該データ受信手段により受信された該閲覧データに係る該細分化のレベルと、該地域区分と、該内容とに応じて分類されている広告を検索する検索手段と、該検索手段により検索された広告に係る広告データを該情報処理端末に送信するデータ送信手段とを備えていることを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、ありふれた内容に関する広告を地域の細分化のレベルの高い地域区分にのみ分類して記憶手段に記憶させておくことができる。この場合、ユ

ーザは高いレベルの地域区分を指定したときにのみ、ありふれた内容に関する広告を閲覧することができる。また、細分化のレベルが高ければ地域区分が小さく絞り込まれるので、ありふれた内容でもその広告の数が適切に抑制される。このため、ありふれた内容について、閲覧可能な広告の数が膨大になるという事態を回避することができる。

【 0 0 1 0 】

また、特殊な内容に関する広告を地域の細分化のレベルの低い地域区分にのみ分類して記憶手段に記憶させておくことができる。この場合、ユーザが低いレベルを指定したときにのみ、特殊な内容に関する広告を閲覧することができる。また、細分化のレベルが低ければ地域区分はさほど絞り込まれていないので、特殊な内容でもその広告の数が十分に確保される。このため、特殊な内容について、閲覧可能な広告の数が過小になるという事態を回避することができる。

【 0 0 1 1 】

こうしてユーザが閲覧可能な広告の数が膨大又は過小になる事態が回避されることで、ユーザによる広告の閲覧が促進され、広告効果の向上が期待できる。

【 0 0 1 2 】

前記データ受信手段は広告申込用の情報処理端末から前記広告に関する地域の前記細分化のレベルと、該レベルにおける地域区分と、該広告の内容に係る分類データを受信し、前記記憶手段は、該データ受信手段により受信された該分類データに基づき該広告を分類して記憶することを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

本発明によれば、広告をした者は、広告用の情報処理端末を通じ、前述の内容に応じたユーザによる地域区分の絞込みの傾向に合わせて地域の細分化のレベルを指定することができる。

【 0 0 1 4 】

前記記憶手段は、所定の地域範囲において共通する内容の広告の数が大きい広告ほど前記細分化のレベルを高くして記憶することを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

前記所定の地域範囲において共通する内容の広告の数を該広告の内容ごとにカ

ウントするカウンタを備え、前記記憶手段は、該カウンタによりカウントされた共通する内容の広告の数が多い広告ほど前記細分化のレベルを高くして記憶することを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

本発明によれば、共通する内容の広告の数が多いありふれた内容に関する広告を、高いレベルの地域区分に分類して記憶手段に記憶させることができる。また、共通する内容の広告の数が小さい特殊な内容に関する広告を、低いレベルの地域区分に分類して記憶手段に記憶させることができる。

【 0 0 1 7 】

前記情報処理端末は携帯型であることを特徴とする。携帯型ゆえに情報処理端末の画面に一度に表示される情報量が少ないために閲覧する広告の数が多いければ通信時間が長くなり、通信コストも高くなる。しかるに、前述のように広告の数が適切なものとされるので、かかる事態が回避される。また、携帯型としたことで時と場所の制約とは関係なく広告が閲覧されるので、広告効果が向上すると期待できる。

【 0 0 1 8 】

【発明の実施の形態】

本発明の広告システムの実施形態について図面を用いて説明する。図 1 は本実施形態の広告システムの構成説明図であり、図 2 は本実施形態の広告システムにおける広告の分類についての説明図であり、図 3 は本実施形態の広告システムを利用するモバイルにおける画面表示の説明図である。

【 0 0 1 9 】

図 1 に示す広告システムは、データベース（記憶手段）1 と、データ受信手段 2 と、検索手段 3 と、データ送信手段 4 とを備えている。本システムは、ネットワーク通信が可能な携帯電話や P H S 等のモバイル（情報処理端末）x を有するユーザ、及び同じくネットワーク通信が可能な広告用の情報処理端末 y を用いて求人募集をする企業等を対象とする。

【 0 0 2 0 】

データベース 1 は求人に係る地域を段階的に細分化し、求人広告（本発明の「



広告」)を細分化のレベル及びそのレベルにおける地域区分ごとに分類するとともに、求人広告の内容に応じて分類して記憶する。この分類は、広告用の情報処理端末yからデータ受信手段2に送信され、求人広告に関する地域の細分化のレベルと、そのレベルにおける地域区分と、求人広告の内容に係る「分類データ」に基づき行われる。また、図2に示すように地域の細分化のレベルは、地域区分「日本」、「アメリカ」、「ヨーロッパ」等がレベル1、「日本」等を細分化する地域区分「北海道」、「東北」、「関東」等がレベル2、「関東」等を細分化する地域区分「東京」、「神奈川」等がレベル3、「東京」等を細分化する地域区分「新宿」、「渋谷」等がレベル4とされている。レベル1からレベル4に行くにつれて地域の細分化のレベルは高くなる。

#### 【0021】

データ受信手段2はモバイルxから地域の細分化のレベルと、そのレベルにおける地域区分と、求人広告の内容とに係る「閲覧データ」を受信する。検索手段3は、データベース1により記憶されている求人広告の中から、「閲覧データ」に係る地域の細分化のレベルと、地域区分と、求人広告の内容に応じて分類されている求人広告を検索する。データ送信手段4は検索手段3により検索された求人広告に係る「広告データ」をモバイルxに送信する。

#### 【0022】

ここで、前記構成の広告システムの利用形態について図1～図3を用いて説明する。モバイルxが広告システムの運営者が開設するホームページにアクセス状態となると、まず、図3(a)に示すようにモバイルxには「エリアを選ぶ」、「キーワードを選ぶ」、「戻る」、「次へ」というメニューバーが表示される。このとき「エリアを選ぶ」が選択されると、図3(b)に示すようにレベル1に属する地域区分「日本」、「アメリカ」等が列挙表示される。続いて「日本」、「次へ」が選択されると、図3(c)に示すように「日本」を細分化するレベル2の地域区分「北海道」、「関東」等が列挙表示される。さらに「関東」、「次へ」が選択されると、図3(d)に示すように「関東」を細分化するレベル3の地域区分「東京」、「神奈川」等が列挙表示される。次に「東京」、「キーワードを選ぶ」が選択されると、図3(e)に示すように地域区分「東京」とともに

「短期で稼ぐ」、「飲食関係」等の求人広告の内容に関するキーワードが列挙表示される。

【0023】

そして「飲食関係」、「次へ」が選択されると、地域の細分化のレベル（レベル3）と、このレベルにおける地域区分（東京）と、求人広告の内容（飲食関係）とに係る「閲覧データ」がモバイルxからデータ受信手段2に送信される。このとき、検索手段3は、「閲覧データ」に係るレベル3、東京、飲食関係に応じて分類されている求人広告をデータベース1の中から検索する。続いてデータ送信手段4が検索された求人広告に係る「広告データ」をモバイルxに送信する。これによりモバイルxには図3（f）に示すように「広告データ」に係る求人広告が表示される。続いて「次へ」が選択されることでこの「広告データ」に係る求人広告がモバイルxにおいて表示される。なお、メニューバーの中から「戻る」が選択されると直前の画面に戻ることができる。例えば図3（c）の状態で「戻る」が選択されると、図3（b）に示す画面が表示される。

【0024】

前記実施形態の広告システムによれば、居酒屋等のありふれた職種に関する求人広告を地域の細分化のレベルの高い地域区分にのみ分類してデータベース1に記憶させておくことができる。この場合、ユーザはモバイルxを通じて高いレベルの地域区分を指定したときにのみ、ありふれた職種に関する求人広告を閲覧することができる。また、細分化のレベルが高ければ地域区分が小さく絞り込まれるので、ありふれた職種といえどもその求人広告の数が適切に抑制される。このため、ありふれた職種について、閲覧可能な求人広告の数が膨大になるという事態を回避することができる。

【0025】

また、特殊な職種に関する求人広告を地域の細分化のレベルの低い地域区分にのみ分類してデータベース1に記憶させておくことができる。この場合、ユーザが低いレベルを指定したときにのみ、特殊な職種に関する求人広告を閲覧することができる。また、細分化のレベルが低ければ地域区分はさほど絞り込まれていないので、特殊な職種といえどもその求人広告の数が十分に確保される。このた

め、特殊な職種について、閲覧可能な求人広告の数が過小になるという事態を回避することができる。こうしてユーザが閲覧可能な求人広告の数が膨大又は過小になる事態が回避されることで、ユーザによる求人広告の閲覧が促進され、応募者は人材を確保することができると期待される。

## 【 0 0 2 6 】

前記実施形態では「広告」が求人広告であり、その「内容」は求人に係る職種によって分類されていたが、他の実施形態として「広告」が中古車の販売、物品の交換、サービスの提供等、あらゆる種類の広告であってもよく、その「内容」は中古車の種類、価格、交換に関する物品の種類、提供されるサービスの内容等、さまざまであってもよい。

## 【 0 0 2 7 】

前記実施形態では地域の細分化のレベルは4つであったが、他の実施形態としてレベルは複数であればいくつであってもよい。また、地域の細分化の方法は前記実施形態のものに限定されるものではない。前記実施形態では地域の細分化のレベルがモバイルxにおける操作の繰り返しによりレベル1からレベル4に向かって変動していったが、他の実施形態としてレベル4からレベル1に向かって変動するようにしてもよい。

## 【 0 0 2 8 】

前記実施形態では広告用の情報処理端末yからデータ受信手段2に送信されてきた「広告データ」に基づいて求人広告が分類されてデータベース1に記憶されたが、他の実施形態としてこのシステムの運営者が、電話等を介して求人募集者から入手した情報に基づいて図示しない情報入力装置により「求人データ」を入力し、この入力された「広告データ」に基づいて求人広告が分類されてデータベース1に記憶されてもよい。

## 【 0 0 2 9 】

また、全国、関東、松江市、〇〇川の両側を挟む地域等の「所定の地域」における共通する職種（内容）に関する求人広告の数が広告システムの運営者等により人力でカウントされ、カウント数が大きいものほど高いレベルの地域区分に分類してデータベース1に記憶されてもよい。さらに、かかるカウントを人力では

なく自動的に行うカウンタが設けられてもよい。かかる実施形態によれば、一般にカウンタによるカウント数が大きいありふれた職種に関する求人広告を、高いレベルの地域区分に分類してデータベース 1 に記憶させることができる。また、一般にカウンタによるカウント数が小さい特殊な職種に関する求人広告を、低いレベルの地域区分に分類してデータベース 1 に記憶させることができる。

【 0 0 3 0 】

前記実施形態ではモバイルを介して広告が閲覧されたが、他の実施形態として設置型のパソコン等の情報処理端末を介して広告が閲覧されてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態の広告システムの構成説明図

【図 2】

本実施形態の広告システムにおける広告の分類に関する説明図

【図 3】

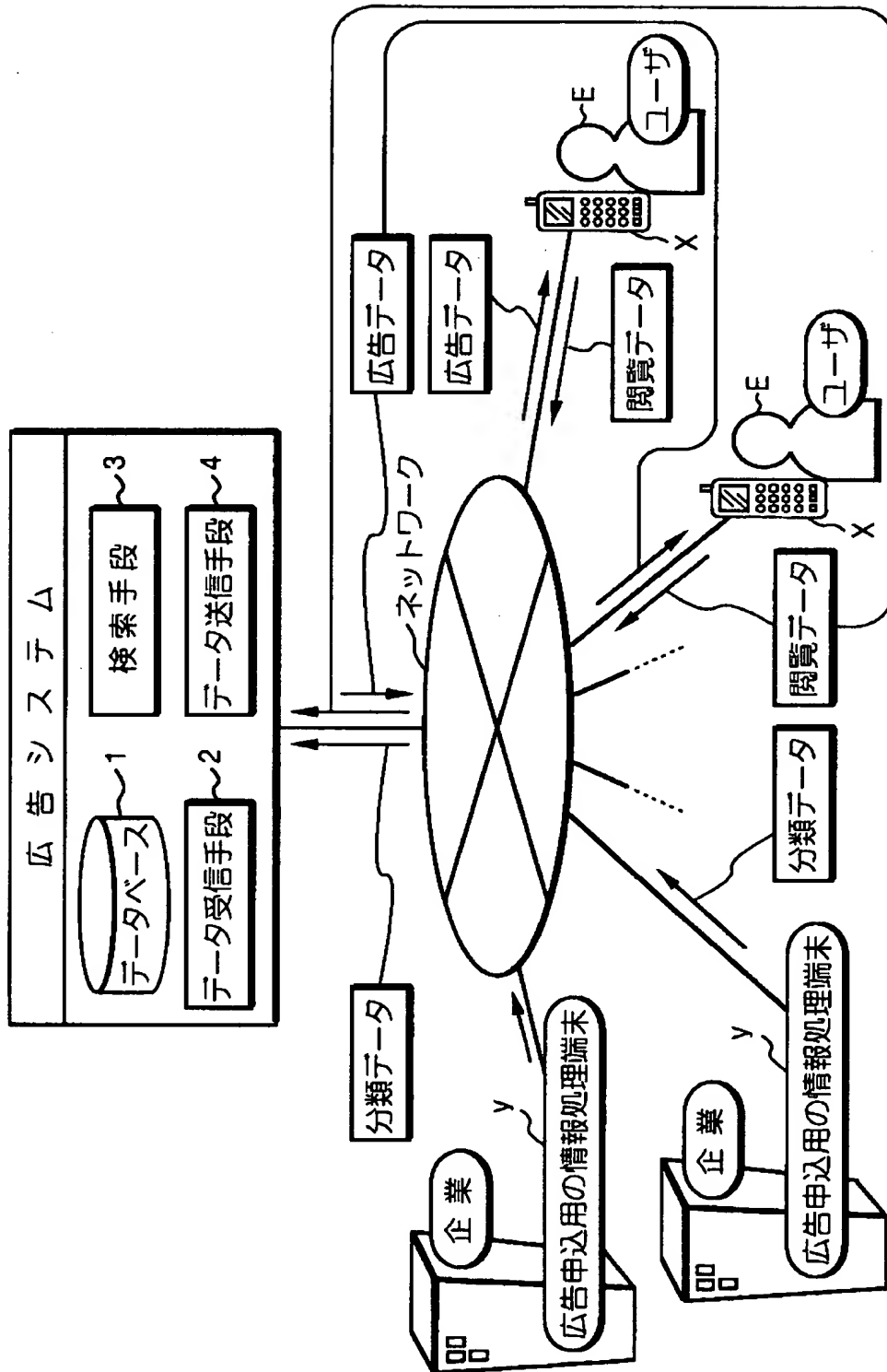
本実施形態の広告システムを利用するモバイルにおける表示画面の説明図

【符号の説明】

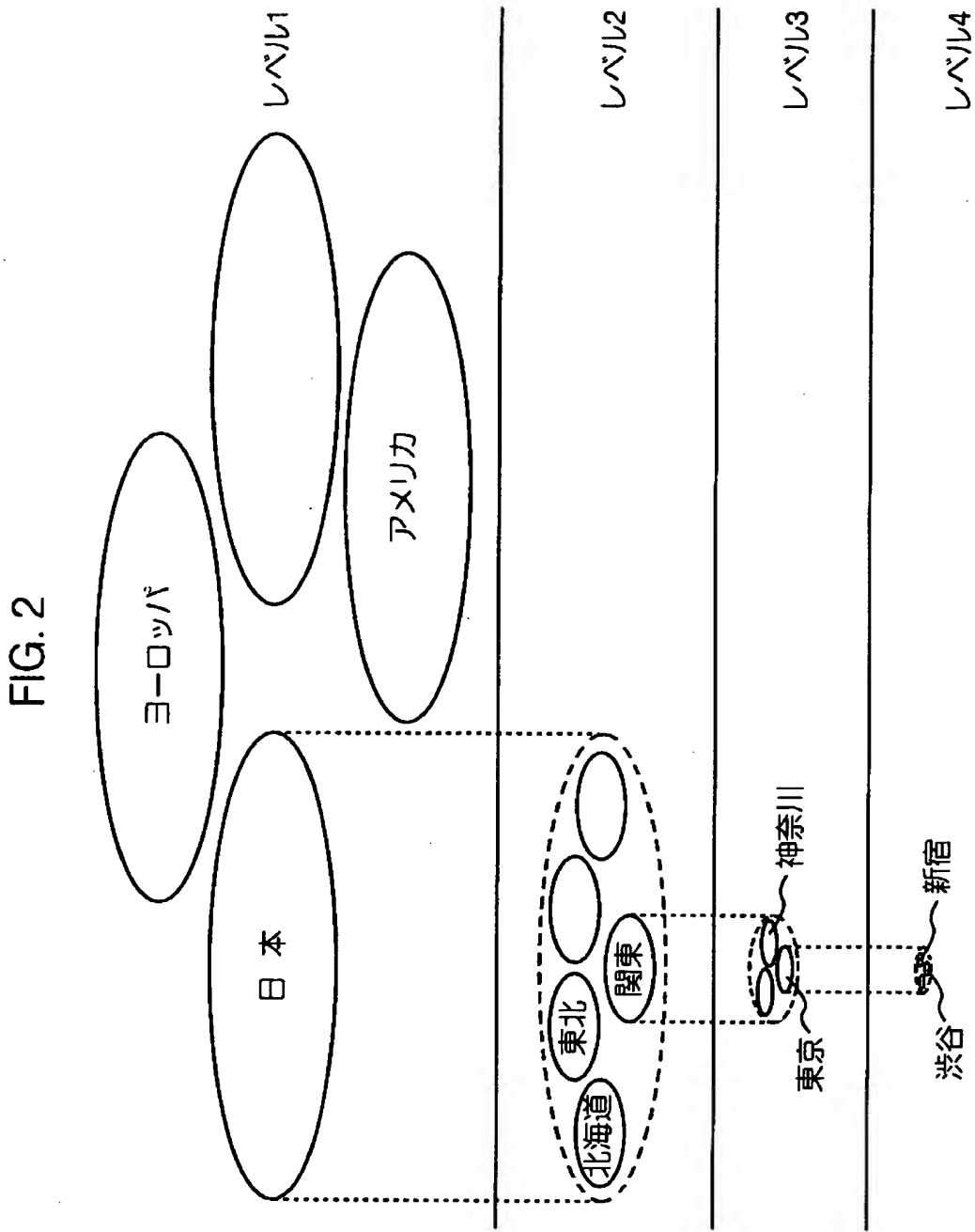
1・・・データベース（記憶手段）、2・・・データ受信手段、3・・・検索手段、4・・・データ送信手段、x・・・モバイル（情報処理端末）、y・・・広告申込用の情報処理端末

【書類名】 図面  
【図 1】

FIG. 1



【図 2】



【図 3】

FIG.3 (a)

- エリアを選ぶ
- キーワードを選ぶ
- 戻る
- 次へ

FIG.3 (e)

- 東京
- 短期で稼ぐ
- 飲食関係
- ……
- 戻る
- 次へ

FIG.3 (b)

- 日本
- アメリカ
- ヨーロッパ
- ……
- キーワードを選ぶ
- 戻る
- 次へ

FIG.3 (f)

- 勤務地
- 東京都 ◦ ◦ ……
- ホールスタッフ
- 時給 ◦ ◦ 円
- 居酒屋 Z
- 戻る
- 次へ

FIG.3 (c)

- 北海道
- 東北
- 関東
- ……
- キーワードを選ぶ
- 戻る
- 次へ

FIG.3 (d)

- 東京
- 神奈川
- ……
- キーワードを選ぶ
- 戻る
- 次へ

【書類名】

要約書

【要約】

【課題】 内容ごとに地域限定の度合いと広告の数との整合を図ることが可能な広告システムを提供する。

【解決手段】

データベース（記憶手段）１と、データ受信手段２と、検索手段３と、データ送信手段４とを備える。データベース１は広告に係る地域を段階的に細分化し、広告を細分化のレベル及びそのレベルにおける地域区分ごとに分類するとともに、広告の内容に応じて分類して記憶する。データ受信手段２はユーザのモバイルｘ（情報処理端末）から細分化のレベルと、そのレベルにおける地域区分と、広告の内容とに係る「閲覧データ」を受信する。検索手段３はデータベース１により記憶されている広告の中から「閲覧データ」に係るレベルと、地域区分と、内容とに応じて分類されている広告を検索する。データ送信手段４は、検索された広告に係る「広告データ」をモバイルｘに送信する。

【選択図】 図１



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500395831]

1. 変更年月日	2000年 8月23日
[変更理由]	新規登録
住 所	群馬県高崎市浜尻町98-21
氏 名	小林 薫